

れいわ ねんど
令和5年度
がつ こう じゅん かい こう えん じ ぎょう
学校巡回公演事業

劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、「演劇は、まことに面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年は12作品のレパートリーを開いています。



劇団 芸優座

〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4
Tel.042-489-4555(代) geiyuza@mri.biglobe.ne.jp

劇団 芸優座 公演

～O.ヘンリ－物語～

最後の一葉

きゃくほん ひらつか にろう
脚本／平塚 仁郎 演出／村田 里絵



「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

文化庁

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

～O.ヘンリー物語～

最後の一葉

(2幕2場)

第一場 公園にて (第一話「心と手」)

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうヘトヘト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粹な身なりの青年と風采の上がらない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がっていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて…



(第二話「愛の使者」)

再び駅へ向かおうとすると、偶然アーノルドが三ヶ月前に捨てられたばかりの恋人が通りかかる。二人の間に右往左往する羽目に陥ったボブは…



登場人物

第一場 公園にて

第一話「心と手」

第二話「愛の使者」

第二場 ボブのアパート

第三話「賢者の贈り物」

第四話「最後の一葉」

駅へ急ぐ兄弟たち／ボブ／アーノルド／イーストン／保安官

フェアチャイルド／リタ／エルジィ／通りがかりの勤め人

ジム／デラ

スウェディ／ジョンジー／ベアマン／フリット／医者
看護婦／救護員／アパートの住人たち

第二場 ボブのアパート (第三話「賢者の贈り物」)

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢しているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っています…

(第四話「最後の一葉」)

ボブの姉のスウェディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していましたが、彼女は窓から見える薦の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだと信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知っています…



四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

「最後の一葉～O.ヘンリー物語～」

上演時間／100分(休憩10分含む)

短編の名手といわれるO.ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」の数々をお楽しみ下さい。

<https://www.geiyuza.com>

劇団 芸優座

令和5年度
学校巡回公演事業

劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、「演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年は12作品のレパートリーを開いています。



〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4
Tel.042-489-4555(代) geiyuza@mri.biglobe.ne.jp

劇団 芸優座

劇団 芸優座 公演

～O.ヘンリー物語～

最後の一葉

脚本／平塚 仁郎 演出／村田 里絵



「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

文化庁

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

～O.ヘンリー物語～

最後の一葉

(2幕2場)

第一場 公園にて (第一話「心と手」)

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうへトへト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粹な身なりの青年と風采の上がらない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がっていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて…



(第二話「愛の使者」)

再び駅へ向かおうとすると、偶然アーノルドが三ヶ月前に捨てられたばかりの恋人が通りかかる。二人の間で右往左往する羽目に陥ったボブは…



登場人物

第一場 公園にて

第一話「心と手」 駅へ急ぐ兄弟たち／ボブ／アーノルド／イーストン／保安官

第二話「愛の使者」 フェアチャイルド／リタ／エルジィ／通りがかりの勤め人

第二場 ボブのアパート

第三話「賢者の贈り物」 ジム／デラ

第四話「最後の一葉」 スウディ／ジョンジー／ベアマン／フリット／医者
看護婦／救護員／アパートの住人たち

原作 O.ヘンリー
脚本 平塚仁郎
演出 村田里絵

第二場 ボブのアパート (第三話「賢者の贈り物」)

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢しているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っています…

(第四話「最後の一葉」)

ボブの姉のスウディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していたが、彼女は窓から見える鳶の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだ信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知っています…



四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

「最後の一葉～O.ヘンリー物語～」

上演時間／100分（休憩10分含む）

短編の名手といわれるO.ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」の数々をお楽しみ下さい。

<https://www.geiyuza.com>

劇団 芸優座